

移動できる秘密基地、隠れ家で愉しむ至福の時。

# 男の隠れ家

珈琲を味わうための  
移動空間。  
最高の一杯を求めて、  
旅に出る——。



東京オートサロン2026出店車両

いすゞ エルフ

# ISUZU ELF

MULTI UTILITY VEHICLE



上／豆はこだわりの自家焙煎、ハンドドリップで丁寧に珈琲を淹れるカフェKOBAN店主の後藤尚久(coffeekoban.net/)。左下／ミルで豆を挽くと周囲に珈琲の香りが広がる。アウトドアには香りの強い珈琲が似合いそうだ。右下／店主お得意の自家製タルタル特製たまごサンドでランチタイム。



## ウイングを跳ね上げれば そこは極上のテラス席

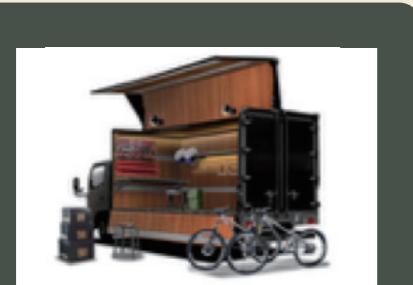
上／ウイングの開閉は電動で操作可能。左右に大きく跳ね上がる。中／ラッシングレールを活用すればテーブルやラックを自在に取り付けられる。下／LED間接照明がトラックの荷台とは思えない落ち着いた雰囲気を演出している。

### コーヒーマイスターのこだわり

アウトドアで味わう珈琲は豆選びがポイントです。私の場合、朝一番は浅煎りのブレンドで、大きめに挽いて、朝食と一緒に味わいます。午後は酸味の効いたイエメンでリラックスタイム。ぜひ好みのティストを見つけて楽しんでください。



「珈琲を淹れる時間も、景色も、  
く転換したのがエルフMUVだ。ビジネスからレジャー・ホビーへと可能性を発展させ、使う人のアイデア次第で姿を変えるマルチユースな使い方を提案している。内装を汎用性の高い木目調として、さらに間接照明を効果的に配置することで、限られた空間に奥行きとくつろぎを感じさせる仕上がりに。荷物を積み込むだけでなく、人が快適に過ごすことも想定した設えだ。床面にはエアラインレール、側面にはラッシングレールを装備し、用途に応じてさまざまなアイテムをアレンジできる。



### MUVは変幻自在! まさに動くガレージ!

壁面のラッシングレールや床面のエアラインレールを使用すれば、装着できるアタッチメントは様々。バイクスタンドを装備して出かければ、行く先がガレージに大変身。まさにユーザーのライフスタイルを運ぶ1台となる。

全部ひっくるめて味わいたい」。プライベートな珈琲空間で珈琲を楽しむのは、カフェKOBAN店主の後藤尚久だ。その日の気分に合わせて選んだ豆をミルで挽き、ハンドドリップで丁寧に淹れた珈琲は格別の1杯だ。陽光や空気の流れを感じながら、自然の中で五感を開放することで、部屋で味わう珈琲とはまた違った新しい味の輪郭を楽しめるからだ。仕事と遊び、移動と滞在。その境界を曖昧にしながら、エルフMUVは新たなライフスタイルを人々に提案する。移動販売車などビジネスユースにも十分活躍してくれそうだ。

男の隠れ家 秘密基地 Version

# 自分だけの移動力カフェ空間で 香り高き珈琲を独り占め

トラックのウイングが跳ね上げられると、そこは自然とつながる小さなカフェ空間だった。いすゞエルフから生まれた「エルフMUV」が新しいライフスタイルを提案する。



### ISUZU ELF MUV (MULTI UTILITY VEHICLE)



いすゞエルフ

いすゞエルフのウイングバンをベースに、トラックの新しい使い方を提案するコンセプトモデル。ウイングバンとは、荷台側面が鳥の翼(ウイング)のように左右に大きく開く構造を持つトラックのこと。荷室にホビー＆ビジネスユース向けの快適な内装と高い機能性が与えられている。

ある晴れた日の午後、自然の中に1台のトラックが佇んでいる。ダークグレーの外装にカッパー系のアクセントを添えた落ち着いたデザインが、自然の中にも違和感なく溶け込んでいる。ウイングが跳ね上げられると、そこに出現したのはプライベートな珈琲空間だった。

街中の配達業務や建設現場の資材運搬など、働く小型トラックとして知られる、いすゞエルフ。その信頼性の高いシャーシを土台に、荷物を運ぶ移動手段から、ライフスタイルを運ぶ、楽しむ空間へと発想を大きく広げた。



ボディ下部にスカート類を追加するなど、街を走るトラックとは異なる“大人の秘密基地”感を演出するスタイル。夜間はサイドマークアーバイミニエーションやイルミネーションエンブレムが点灯し個性を主張する。

#### ■ 車両概要

ベース車両:エルフ ウイングバン  
免許区分:準中型免許(5t以上)  
寸法:全長5,035mm／全幅1,890mm／全高2,730mm  
エンジン型式 4JZ1型4気筒ディーゼル(2999cc)  
最小回転半径 4.4m